



花粉の少ない森づくりを応援しよう！

# づくり支援倶楽部会報誌

28年度秋号

第32号

発行日：平成28年12月19日

- CONTENTS -

【特集】多摩産材利用拡大に向けて	1
東京マラソン2017に向けて	2
「とうきょう林業サポート隊」活動開始から1周年	3
企業の森活動報告	4
平成28年度 森づくり支援倶楽部イベント活動報告	5
「とうきょう森づくり貢献認証制度」認証書授与	6
東京マラソン2017チャリティの寄付金を募集しています。	7





# 多摩産材の利用拡大に向けて ～「多摩産材利用拡大フェア」の開催～

多摩産材の利用拡大に向けて、多摩産材情報センターが発足してから約2年半。更なる利用拡大を目指して開催された「多摩産材利用拡大フェア」の概要とその意義についてご報告します。

平成26年6月に多摩産材情報センターが開所して以来、2年5ヶ月が経った11月28日（月）、29日（火）の2日間にわたり、JR錦糸町駅前「すみだ産業会館サンライズホール」において「多摩産材利用拡大フェア」を開催しました。

今回のフェアは、財団主催で初めて開催するものであり、「～多摩産材の製品を知りたい、使いたい方々の展示会～」をうたい文句とし、建築資材や家具・什器など多摩産材製品を取扱う業者や団体が23社出展しました。多摩産材製品を使ってみたいという工務店や建築・設計事務所等の施工者又は自治体等の発注者に、多摩産材製品を知ってもらうことに加え、出展者との交流を通じて、新たな多摩産材活用の機会を創出することも目的としています。

一日目の28日は、10時から開会式典を行い、当財団理事長による主催者挨拶の後、東京都森林課長、一般社団法人東京都木材団体連合会会長（事務局長代読）の来賓祝辞、東京都森林組合代表理事組合長の出展者代表挨拶をいただきました。



セミナーの様子



各ブースでのインタビューの様子

た。式典後は、司会を務めた2016ミス日本みどりの女神の飯塚帆南さんが各ブースを回りインタビューをしながら、出展者の紹介を行いました。

会場内に設けたイベントコーナーでは、4回のセミナー【「都市部での木材利用拡大に向けて」（講師：桜井康裕氏）、「多摩林業の歴史（山林作業員から見た!）」（講師：小机篤氏）、「原木市場から見た多摩産材の動き（製材・流通）」（講師：三谷清氏）、「森林の育成と多摩産材利用の意義」（講師：菅原泉氏）】や出展者からのPRを行いました。セミナーは、各回とも盛況で、ユニークな講師のお話に、参加者の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

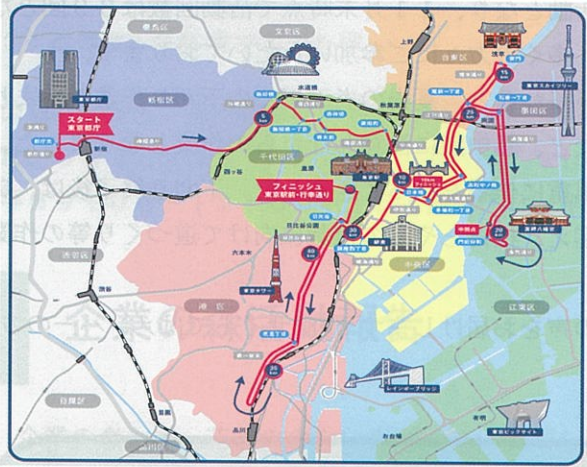
各ブースにおいては、製品の説明や見せ方に趣向を凝らし、多摩産材の魅力を大いに発信しており、展示内容について熱心に質問する来場者の姿がとても印象的でした。2日間のフェアを終えて、来場者および出展者の皆様から、様々なご意見・ご感想をいただき、こうした展示会の意義を再認識したところです。

今後も、多摩産材の更なる利用拡大に向け、関係者と連携し、効果的かつ魅力的なPRに取り組んでまいります。

# 東京マラソン2017に向けて

## ～花粉の少ない森づくりのチャリティの状況～

東京マラソン2017は、いよいよ2ヶ月後の2月26日（日）に迫りました。今回の東京マラソン2017の注目は、コースの変更です。フィニッシュ地点である東京駅前・行幸通りは、外国人観光客にも人気のスポットです。



東京マラソンの新ルート地図

### 寄付の状況

農林水産振興財団への寄付について、多数の方々のご賛同をいただきありがとうございます。おかげさまで現在までの寄付額は、876万円を超えています。さらに、チャリティアンバサダーとして元ラグビー日本代表松田努さんをお願いしたことなどにより、クラウドファンディングによるサポーターとしての寄付も増えています（下表参照）。

### チャリティランナー

大会人気のますますの高まりを反映して、チャリティランナーは、3000名の募集に対して、

受付開始後わずか1ヶ月の7月末には、2000名に達しました。加えて今回は、一般ランナーの抽選（12.2倍）の結果発表（9月16日）前にチャリティランナーの登録が締め切られました。現在、「花粉の少ない森づくり」には、87名のチャリティランナーの登録をいただいています。アンバサダーの松田努さん、「企業の森」に協賛いただいている企業・団体からも多くの方々の出走が決まっています。

### マラソン当日及びEXPO

農林水産振興財団では、東京マラソン2017当日の2月26日（日）に、チャリティランナーの応援スポットを沿道に設置する予定です。是非ともみんなで一緒に応援しましょう。

さらに直前の2月23日（木）、24日（金）、25日（土）には、東京ビッグサイトで東京マラソン EXPOが開催されます。私どもも東京マラソン2017チャリティ寄付先団体として参加しており、多くの皆様のご来場をお待ちしています。



EXP02016の様子



## 花粉の少ない森づくりへの寄付金の状況



平成28年11月末現在

	個人寄付 (チャリティランナー)	法人寄付 (チャリティランナー)	サポーター	寄付のみ	合計
金額	5,220,000 円	3,200,000 円	334,000 円	10,000 円	8,764,000 円
件数 (ランナー数)	52件 (52名)	7件 (32名)	80件 (3名)	1件	140件 (87名)

サポーター：チャリティランナーへの応援（=寄付）を通じて寄付先団体の活動を支援する人（寄付を呼びかけた人を含む）



# 「とうきょう林業サポート隊」 活動開始から1周年 ～メンバーの声を届けます～



平成27年度より、東京都は「とうきょう林業サポート隊」の事業を新たに実施し、平成28年10月で1周年を迎えました。この1年を振り返り、メンバーの声をお届けします。

早いもので「とうきょう林業サポート隊」の活動を開始してから、平成28年10月3日で1年が経ちました。本年4月からは、毎週水曜日と土曜日の週2回の活動となり、11月末時点で活動回数は89回となりました。また、メンバーの登録者数は400名を超え、多くの方々にご参加いただいております。

活動開始から大刈り、道づくり、植栽等を行い、植栽が終わると、夏場の炎天下での下刈り作業が始まりました。水分をこまめに補給したり、冷却グッズを使うなど、熱中症に注意しながらの作業となりました。また、苗木の周辺にハチの巣が隠れている場合もあり、慎重に作業を行ってきました。下刈り終了後は、広葉樹の除伐作業を行いました。これから2度目の冬場を迎え、枝打ちや春の植栽に向けて道づくり等の作業を予定しています。

今回は、精力的に活動されているメンバーの方々からの声をお届けします（WEBサイトではメンバーの方々の声の全文を確認できます。）。



道づくり



下刈り作業 高橋さん

**高橋 勝也さん**

活動回数は、最多の38回！

◇サポート隊の活動に参加したきっかけ

多少の時間の余裕ができ、微力ではありませんが、有意義なことができないかと思っていましたところ、「広報 東京都」にお知らせがあり、問い合わせれば年齢制限もないとのことので応募しました。

◇活動に参加して感じたこと

山に入って、山のこと、目の前のやることにみに集中できる時間が持てることは、何よりありがたいことだと思います。

これからは、経験豊かな指導員の方々に、さらに山仕事の奥深いところを教わっていきたいと思います。

◇林業に興味のある方へのメッセージ

人工林は、今、手入れの行き届かないところもあり、倒木もそのまま密集した木で、暗く荒れた山を見ると悲しいものがあります。森林は水を蓄え、空気を清浄にし、多様な生き物を育み、産業を生む山の宝庫です。今の作業が50年、100年先に建物や家具に生かされると思うと楽しみです。

**佐伯 みちよさん**

他団体の森林ボランティアにも参加している女性メンバー。

◇サポート隊の活動に参加したきっかけ

他団体の森林ボランティアをしているのですが、メンバーからサポート隊のことを聞いて、一から学んでみたいと兼ねてから思っていたのと、プロと同じ現場に入って教えてもらえるなんて！と夢のような気持ちで参加しました。

◇活動に参加して感じたこと

作業のやり方、進め方、道具の使い方、手入れの仕方、知らなかった事、やったことがない事、再確認できた事、もう色々です。まだまだあるよとK師匠がニヤリと言いますが、山仕事で発生する作業の全てを身に着けたいと欲張りに思っています。

◇林業に興味のある方へのメッセージ

指導員の方達の手厚い指導のもとで作業できるので、安心して作業ができます。初めの一步は勇気がいるかもしれませんが、一度来てみたら、プロの方には申し訳ないのですが、「楽しかった。」で終わる事ができます。



下刈り作業



除伐作業 洗川さん(左)、佐伯さん(右)





森林整備活動（下刈り）の様子



9月3日の下刈り作業に参加されたメンバー

とうきょう林業サポート隊では、10代から70代までの幅広い年齢層の方々にメンバー登録・参加をいただいております。この機会に是非、活動に参加し、東京で林業を学びませんか。

【問い合わせ先】

 とうきょう林業サポート隊

公益財団法人 東京都農林水産振興財団 森の事業課 とうきょう林業サポート隊事務局

TEL 042-528-0564 <http://ringyou-support.tokyo/>

平日9:00~17:00（土日・振替休日・年始年末を除く。）



## 企業の森活動報告

企業の森とは、花粉の少ない森づくりに賛同した企業・団体が、募金や社員の方々による森林ボランティア参加等を通じて「花粉の少ない森づくり」を行う事業です。最近、実施された森林整備等のイベントをご報告します。

なお、11月までの今年度のイベントは、合計15回、参加延べ620名となりました。

### 企業の森・あくなき創造の森（青梅柚木）サトーホールディングス株式会社

9月10日（土）「下刈り」

参加人数：22名

【第3回】となるイベントとして、下刈り作業を行いました。



下刈り作業



集合写真

### 東芝府中・日の出の森

東芝労働組合 府中支部

11月5日（土）「森林整備等」

参加人数：35名

10周年を記念して【第15回】森林整備体験イベントを開催しました。間伐材を活用してコースターを作り、10周年の焼印を押しました。また、農林水産振興財団からは感謝状を贈呈しました。



感謝状を贈呈



集合写真

### 新宿の森 あきる野（企業の森）

11月19日（土）「間伐材の枝払い等」

参加人数：39名

新宿区の「新宿の森・あきる野自然体験バスツアー」において【第6回】のイベントとして、間伐の見学と間伐材の枝払い等を行いました。



間伐材の枝払い



集合写真



# 平成28年度 森づくり支援倶楽部会員イベント活動報告 「東京マラソンの森（八王子）」植樹体験イベント

「東京マラソン2016チャリティ」の寄付金を活用した東京マラソンの森(八王子)植樹体験イベントを開催しました。

- 開催日：平成28年10月30日（日）
- 参加人数：35名  
チャリティアンバサダー松田努さん  
チャリティランナー7名 一般参加者等27名
- 植栽樹種：広葉樹 120本（ヤマザクラ）
- 植栽面積：0.08ha
- 午前：植樹体験 午後：トレイルラン教室又は自然解説



全員で記念撮影



参加したチャリティランナーの皆さん



## 「植樹体験」

参加者35名の皆さん、一人ひとりがヘルメットと軍手を着用し、クワを手に植樹が始まりました。皆さんの頑張りもあって、およそ1時間でヤマザクラ120本を植えることができました。

植樹後、指導員である森づくりフォーラムの久保田さんから「森づくり」の話を聞き、午前の部は終了となりました。

## 「トレイルラン教室」

今回、TRACKTOKYO小田卓矢さんを講師にお招きし、「森づくり」と「走る」を合わせたトレイルラン教室を初めて開催しました。初心者向けの教室でしたが、植樹地から八王子城跡をめぐる、距離3km高低差260mの短いながら少しきつめのコースで行われました。

走法やマナーについての的確な指導のほか、財団職員のにわか勉強による八王子城の解説も好評でした。

多くの方から「もっと走りたい！」という頼もしい感想もいただきました。



TRACK TOKYO  
小田卓矢さん



## 「自然解説」

昨年オープンしたTAKAO599MUSEUMに行き、学芸員による解説を聞きつつ、工夫をこらした展示を観賞しました。なかでもプロジェクトマッピングや森づくりの話は好評でした。

この度はイベントにご参加いただき誠にありがとうございました。来年も森づくりイベントを実施する予定です。またのお越しをお待ちしております。今回ご参加出来なかった方も是非ご検討ください。なお、このイベントの活動報告は（公財）農林水産振興財団のHPでも掲載しています。

# 「とうきょう森づくり貢献認証制度」 認証書授与

～企業の森の協力によりNPO法人グリーンアークの森及びサトーホールディングス㈱に認証書を授与～

東京都では、森づくり活動を行う企業・団体や多摩産材を積極的に利用する企業等に対し、東京の森づくりへの貢献と二酸化炭素吸収量及び二酸化炭素固定量を認証する「とうきょう森づくり貢献認証制度」を実施しています。

これまでの認証の申請に基づき、審査の結果、下表のとおり認証され、第8回（平成28年5月13日）、第9回（10月24日）認証書授与式が開催されました。



第8回認証書授与式



第9回認証書授与式

## 森林整備サポート認定

企業の森等により実施した下刈りなどの森林整備活動による二酸化炭素吸収量を数値化し、森づくりへの貢献を認定しています。

企業・団体名	認定の対象となる施業	認定対象森林面積 (ヘクタール)	二酸化炭素吸収量 トン-CO <sub>2</sub>
特定非営利活動法人 グリーンアークの森	下刈	4.29	504.63
サトーホールディングス株式会社	下刈	1.16	132.12

## 什器による二酸化炭素固定量認証

多摩産材を使用した什器（机、椅子等）の二酸化炭素固定量を認証し、什器の製造業者等の森づくりへの貢献を認証しています。

企業・団体名	品名
株式会社ナガサワ	衝立布タイプ 外1件
	両袖机 外39件、一人用ソファ 外3件
飛騨産業株式会社	ソファ1P 外5件
株式会社イトーキ	木製円テーブル 外41件
東京ブラインド工業株式会社	木製縦型ブラインド 外4件

## 建築物による二酸化炭素固定量認証

多摩産材を利用した建築物の二酸化炭素固定量を認証し、建築物の建築主及び住宅生産事業者等の森づくりへの貢献を認証しています。

建築主・住宅生産事業者等	工事種別	多摩産材使用材積 (立方メートル)	二酸化炭素固定量 トン-CO <sub>2</sub>
建築主：日野市 施工者：三栄建設有限会社 設計者：株式会社土屋建築研究所	新築 日野市立東宮下地区センター	28.2458	17.33

## 東京マラソン 2017 チャリティの寄付金を募集しています。

「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催されている東京マラソンは、ランナーだけでなく、多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、チャリティが実施されています。

公益財団法人東京都農林水産振興財団は、東京マラソン2017チャリティ事業の寄付先団体です。チャリティを通じて、「花粉の少ない森づくり」に是非ご協力をお願いいたします。



募集期間：平成29年 3月31日(金) 午後5時まで

《寄付金》

寄付方法：チャリティランナーをサポート（クレジット決済のみ）  
直接団体へ寄付（銀行振込のみ）  
Run with Heart ランナー登録（銀行振込又はクレジット決済）

※Run with Heart ランナーとは、東京マラソン2017に当選したランナーで、チャリティにも参加する方のことです。



**CHARITY**  
TOKYO MARATHON 2017

東京農林水産振興財団へのお申込は、こちらから  
<http://www.runwithheart.jp/npo/detail?id=04>  
東京マラソン2017チャリティ公式ウェブサイトアドレス  
<http://www.runwithheart.jp/>

### 賛助会員のご紹介

～私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に賛同しています～

賛助会員を随時募集しています！（年会費50,000円）  
会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます！

### 東京の森づくりを応援します



不動産コンサルティングのNO.1企業を目指す！！

**環境ステーション**

TEL:03-3561-4755

東京都中央区銀座1-8-14

### 東京木材問屋協同組合

理事長 渡辺 昭

〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8 木材会館

URL <http://www.mokuzai-tonya.jp/>

TEL:(03)5534-3111 FAX:(03)5534-7711

### 立山産業株式会社

(本社)

〒197-0011 東京都福生市福生 973

TEL:042-553-9111 FAX:042-553-9152

URL:<http://www.tateyama-net.co.jp>

E-mail:eco@tateyama-net.co.jp

### “考えます木材流通を前向きに”

### 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号

TEL:(03)3862-7081 FAX:(03)3864-9123

URL:<http://zaisho.sakura.ne.jp/>

e-mail:info@zaisho.sakura.ne.jp

### 「東京の木の紙」のお問い合わせは

### 4030 株式会社 シオザワ

〒104-0043 東京都中央区湊3-4-11 4030ビル(企画開発課)

TEL.03-3551-6201 FAX.03-5541-7725

URL <http://www.shiozawa.co.jp>

### 新東京木材商業協同組合

理事長 内田 鉄夫

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13

URL:<http://www.zaimokuya.or.jp/>

TEL:03-3959-7811

FAX:03-3958-3592

### ～森を育てたい。だから木を使おう。～ 一般社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8

URL:<http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>

TEL:(03)5569-2211 FAX:(03)5569-2233

### 多摩産材と暮らそう！



### パネ協

日本住宅パネル工業協同組合

Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative

東日本支所

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7

Tel:03-3947-7611 Fax:03-3947-7627

URL:<http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階

TEL:0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

E-mail:moriclub@tdfaff.com

月1回花粉の少ない森づくりに関する  
無料メールマガジン配信中！  
右のQRコードから登録を！

